

令和 7 年第 4 回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 7 年 4 月 24 日（木曜日） 午後 1 時 41 分から午後 4 時 10 分まで
会議開催の場所	市役所 501 会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	島津芳久（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 森田敏夫・教育部参事 志村憲一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 清水寿
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、報告第 1 号、議案第 16 号から 19 号

議題及び決定事項等

報告第 1 号 専決処理について

【原案どおり承認】

議案第 16 号 日高市学校運営協議会委員の任命について

【原案どおり可決】

議案第 17 号 小中一貫教育校における統括校長及び副統括校長について

【原案どおり可決】

議案第 18 号 日高市社会教育委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第 19 号 日高市立図書館協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告し

た。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 学校体育館の空調工事について、3億円規模の予算額となっているが、どのような空調設備を設置するのか。

(教育総務課長) 空調方式としては「スポットバズーカ式」であり、冷風を放出して体感温度を下げる空調設備である。小学校の大きさの体育館には6基、中学校の大きさの体育館には8基設置する。キャットウォーク(2階の狭い通路)に設置し、下に向けて冷気を放出する。

なお、高麗小中学校の体育館には一般的な空調方式(パッケージエアコン)の設備を整備したが、遮熱塗装等で断熱対策が必要となるなど「スポットバズーカ式」より高額な費用が必要となることから、その他全ての体育館に設置することは難しいと判断した。なお、他自治体の導入事例では十分冷房効果は感じられることを確認した。

(委員) 使用時に合わせてスイッチのオンオフを切り替えるのか。空調設備の始動時は電力が最も必要となり電気代も増加すると思われるが、その点は考慮しているのか。

(教育総務課長) 使用方法を考慮した電気代を試算し、予算を計上している。

(委員) 電気料金の削減に繋がるような使用方法も検討が必要と思われる。

給食費無償化について、アレルギー等で給食を喫食しない児童生徒への支援はどうするのか。

(教育総務課長) 給食費と同額を給付金として支給する。

(委員) 学校教育課長の報告について、学級数の減に対して教職員が増となっているのは、特別支援学級が増となったためか。

(学校教育課長) そのとおりである。

(委員) 授業におけるタブレットの使用について、実際に小学校高学年の使い方を見たことがあるが、開いている画面がバラバラであることが気になった。そのような状況があるということを認識しておいた方がよい。IT教育の先進国である北欧がその教育を止めているのに対し、日高市としてはどうするかというビジョンが必要なのではないか。

(教育長) タブレットの使用については、その学年に応じてどのような目的で使用するのか、授業で使用するかどうかといった情報活用能力のベースとなる部分を教えていかなければならないと考えている。

(委員) 非認知能力を養うためにタブレットをツールとして使用するのは非常に難しいと思うが、二次元的な情報を三次元で認識できるような点は非常に素晴らしいと考える。また、読み書きする動きも大事であると考えている。

(教育長) 教科によってはタブレットの使用効果に差が生じる可能性もある。私も手を動かす活動はある程度必要であると考えている。その場面ごとのねらいを教員がよく理解しないといけない。

- (委員) I T教育先進国がその教育を止めているのには何か理由があるのではないかな。教育現場はリスクを背負いながら活動していると感じる。
- 留学体験1DAYツアーについて、参加したい生徒は何度でも参加できるのか。
- (学校教育課副参事) 1日当たりの参加人数、A L Tの人数、スケジュール考えると、同じ生徒が複数回参加することは非常に難しい。
- (委員) 英語に触れる機会を多く求める生徒の気持ちは大事にしていきたい。
- (学校教育課副参事) 今年度は、海外とオンラインで会話ができる場所を2か所に増設し、少しでも長い時間会話ができる環境を整える予定である。
- (委員) 武蔵台公民館の改修工事の内容は。
- (教育部長) 施設の長寿命化を図る工事であり、内外装やトイレの改修、照明設備のL E D化などの本体工事と、敷地内の舗装、側溝、門扉などの改修を行う外構工事を予定している。
- (教育総務課長) 建物等のレイアウトは現状のままである。
- (委員) 高麗川公民館は改修しないのか。
- (教育総務課長) 今年度、公共施設再編計画の第2期計画が策定される。公共施設の長寿命化改修スケジュールも再検討されるので、そのスケジュールに沿って改修等を進めることとなる。
- (委員) 学校自己評価システムシートについて、各評価指標の年度評価における教職員の割合としては、「Aのみ」は7割を確保していただきたい。小中一貫教育の視点に係る項目の評価指標が満たされていない学校が多い。評価基準の「A + B」が90%未満というのは問題があるのではないかな。学校によって、評価指標における教職員と保護者の評価の割合が極端に低い数字があるがその理由は。
- (教育長) 教職員の割合については、教員として手は尽くしているが「A」という評価として言い切れないと考えると「B」にする教員が殆どである。自己評価の基準を高く考える人ほど評価は低くなる傾向がある。教職員は、子供達の姿を見て自分のやってきた教育に対する評価を行っている。
- (委員) 評価結果が低かったらその方法を変えてみる等、対応方法の検討も行っているのか。
- (教育長) 各学校で対応方法を検討しているが、結果に結びつけることは非常に難しい。
- (委員) 配置された学校の先生によって学習方法が変わるのではなく、学校として統一した学習方法により教育を進めることが必要と考える。
- (教育長) 統一した学習方法による教育を進めても、学年によってはその結果が異なる場合がある。その学年によって内容を少し変えるなどの調整を行いつつ、良い結果に結びつくよう取り組んでいる。
- (委員) ここで小中一貫校が3校揃ってスタートする形となり、まだまだ課題も多くその対応に追われることとなるだろうが、小中一貫教育の目的や理念は忘れずに進めてもらいたい。
- (委員) 私も校長としていろいろな評価をしてきた立場であるが、非常に難しかった。自己評価の基準が高い教職員が多ければ多いほど、その評価は下がる傾向であった。今回の学校自己評価についても、単純に評価シートの結果だけで判断するのは難し

いのではないかと考える。

(委員) 学校運営協議会等で出された意見に対し、次回の取り組みに反映させるといった進め方は大切だと思う。

(委員) 国が5歳児健診を開始し、発達障害のある子どもの把握に努めている。教育委員会としては、その保護者と共通認識を持つことが大事である。

(委員) IT教育先進国がデジタルからアナログに戻すような動きの話があったが、市としても新しい学習指導要領の指針等が定まらないと対応が決まらないということか。

(教育部参事) 国はデジタル、アナログどちらも大事という観点で、GIGAスクール構想を進めていくようである。

(委員) 教員の不足状況についてはいかがか。

(学校教育課長) 定数に対して充足している状況である。年度途中で退職があると対応に苦慮する。

(委員) 特別支援学級が増えると、特別支援学級を指導できる教員が必要になる。その点の考慮が必要である。

(学校教育課長) 特別支援教育の研修を受けた者が担当する等、専門性を持った対応を行っている。

(委員) 新規採用の教員について、新年度が始まり研修などの取組や課題はあるか。

(学校教育課長) 約1か月が経過したが、順調に取り組んでいるようである。

(委員) 私立中学校への進学状況について伺いたい。

(学校教育課副参事) 19名の進学があった。

(委員) 給食費無償化について、食材の物価高騰対策は。

(教育総務課) 特にお米の価格が高騰している状況であるが、当市においては比較的低価格で購入できている。それでも価格は上昇しており、昨年度前半から後半にかけては約2割増、そこから更に約2割増となっているので、対前年同期では4割程度増となっている。今後更に物価高騰が進むようであれば、令和5年4月から月額500円を増額した給食費について再検討が必要となる可能性もある。

(委員) 高麗小中学校について、1・2年生保護者会の際に待機している児童の見守りを後期課程の先生が行っていた。前期・後期の担当教員がお互いに協力し合った対応であり、小中一貫校ならではの良い取組であると感じた。今後も継続していただきたい。

体育館の空調設備について、設置する機械の音の大きさや風の強さはどうか。

(教育総務課長) 高麗小中学校の一般的な空調方式(パッケージエアコン)に比べると、音と風は多少強く感じるかもしれないが、学校行事等には影響ないものと認識している。

(委員) 教育長報告の「地域ミュージアムストーリー」について伺いたい。

(生涯学習課副参事) 昨年度、指定文化財等を「ひだか歴史名勝」として60個認定し、市ホームページで「ひだか歴史名勝ナビ」を公開している。こちらを各地域に20個程度に分けて散策できるコースを紹介しているが、将来的には70個程度に増やし、どのように活用していくかが課題である。

(教育長) 郷土資料を使った授業もあるので、そちらで取り込んでいければと考えて

いる。

(委員) 市内の史跡を散策する来訪者も多いので、市外の方へのPRも検討し、観光事業の活性化に繋がるようにしていただきたい。

(委員) 学校自己評価について、各学校で特色がありそれぞれ違いがあるものと認識しているが、教職員が他校の評価結果を参照することはあるか。小学校の評価は比較的高いが、中学校の評価が低い傾向にある。他校の評価を参照することで自校の改善に繋がることも考えられるので、評価結果に大きな差が出ないような教育を行っていただきたい。

学校運営協議会の評価で「学校が楽しいか」に係る内容の評価が低くなってきている学校がある。子ども達に「どういうことをしたら楽しいか」等の意見を直接聞いたりして、来年度はその評価が少しでも高くなるよう努力していただきたい。

(委員) 体育館空調設備について、スポーツ活動を行う団体が体育館の空調を使用する場合、使用料を徴収するのか。

(教育総務課長) 徴収する方向で進めている。

(委員) タブレット端末を使用した教育については、有効的な場面もあると思うが、目や頭など身体にも負荷がかかることが心配である。

(委員) 子どもが持ち帰ったタブレット端末で不必要な動画サイトを閲覧している場合がある。特に小学生では統一的な規制をする等の対応が必要ではないか。

(学校教育課副参事) 市で一括して制限を設けることも可能だが、学校ごとに管理状況に差があるため、一括した制限は難しい状況である。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第1号 【質疑なし】

議案第16号から第19号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○5月定例会：5月22日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○6月定例会：6月19日（木曜日）午後1時40分から 委員了承